

平成 23 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社 IHI
代 表 者 名 代表取締役社長 釜 和 明
コード番号 7 0 1 3
問 合 せ 先 取締役執行役員
財 務 部 長 寺井 一郎
(TEL 03-6204-7065)

平成 23 年 3 月期通期の業績予想の修正, 損失の計上に関するお知らせ

平成 22 年 11 月 1 日に公表しました平成 23 年 3 月期通期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、ドイツの石炭焚きボイラプロジェクト(以下、「同プロジェクト」という。)におけるコンソーシアムパートナーである欧州企業 AE&E Inova GmbH 社(所在地：ドイツ, A-TEC グループ傘下, 以下、「AE&E 社」という。)の倒産に伴う対応費用について、平成 23 年 3 月期第 3 四半期において特別損失を計上すること、および平成 23 年 3 月期第 3 四半期における為替差損の発生についても、合わせてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 22 年 11 月 1 日発表)	1,180,000	35,000	24,000	15,000	10.23 円
今回修正予想 (B)	1,200,000	50,000	40,000	20,000	13.64 円
増 減 額 (B-A)	20,000	15,000	16,000	5,000	—
増 減 率 (%)	1.7%	42.9%	66.7%	33.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	1,242,700	47,145	33,027	17,378	11.85 円

2. 業績予想修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、売上高は概ね前回発表予想どおりとなる見込みですが、営業利益、経常利益は、円高による減益要因はあるものの、工事採算の改善や諸経費の削減などにより、前回発表予想に対して増益となる見込みです。また当期純利益につきましても、後述する特別損失の計上はあるものの、経常利益段階での好転により前回発表予想に対して増益となる見込みです。

3. 特別損失の内容

ドイツに建設中の同プロジェクトにおいて、当社とボイラコンソーシアムを形成している AE&E 社が同社の持株会社である A-TEC グループの破綻を受けて倒産したことに伴い、その対応方針を検討していましたが、当社としましては AE&E 社の契約上の地位を継承し、コンソーシアム契約に従って独力で同プロジェクトを完遂することとし、AE&E 社から継承する工事範囲のプロジェクトキャッシュフローを精査いたしました。その結果、今後の出金額が入金額を大幅に上回る見通しであることが判明いたしました。

以上の状況を踏まえ当社は、想定される収支不足額を見積もり、平成 23 年 3 月期第 3 四半期において約 92 億円の特別損失を計上することとしました。

4. 為替差損の発生

昨今の為替相場の変動により、平成 23 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間において、為替差損 61 億円を営業外費用に計上いたしました。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上